

特色：マゼンタ =F294 スミ =DIC582

金崎浩之 かねざき ひろゆき

弁護士。弁護士法人 アヴァンセリーガルグループ代表社員弁護士。

一九六三年、東京都生まれ。京都外国語大学卒業後、29歳のときに司法試験に合格。元暴走族（ブラックエンペラー）の幹部経験を持つ“異色弁護士”として、旧態依然に捉われない新しい発想をもとに、社会的・経済的弱者にある中小企業と市民のリーガルサポートを行っている。企業法務では、とくに事業再生、事業継承、会社法、倒産予防DD、企業恐喝を得意としている。主な実績に、外資証券会社依頼による邦銀不良債権の法務DD、種類株式を活用した組織再編スキーム提案など。青山学院大学大学院国際政治経済学研究科（国際経済学修士）卒業。現在は、グロービス経営大学院にてMBAを取得中。東京弁護士会業務改革委員会 事業継承部会、東京弁護士会会社法部所属。著書に『ヤンキー、弁護士になる～波乱の半世紀～』（講談社）など。

<http://www.avance-ig.com/>

経営者新書

金崎浩之

KANEZAKI HIROYUKI

# 御社の顧問弁護士はなぜ役に立たないのか

## 企業の明暗を分ける弁護士の正しい選び方 いつまで関係を続けるのですか？

幻冬舎MC 経営者新書 新刊

経営者新書

金崎浩之

御社の顧問弁護士はなぜ役に立たないのか

高すぎる敷居、低すぎる貢献度、それでも払い続ける月々の顧問料……。現在、多くの会社が顧問弁護士に不満を抱いている。経営の参謀役として機能するCS意識

の高い顧問弁護士なら、紛争の解決・回避に全力を尽くす。顧客満足度を第一に考える。弁護士天国ニッポンにのさばる、ダメ弁護士から、いま、御社を守る！



9784040806600



1920098014002

ISBN978-4-344-99696-0

C0263 ¥700E

定価（本体700円+税）

発行：幻冬舎メディアコンサルティング

発売：幻冬舎

わが国にいる、3万人弱の弁護士。その実態は、はつきり言ってひどい。すべての弁護士がとはいわないが、あまりにも「ダメ」な人が多すぎるのだ。社会に貢献しようという気持ちがない、自分の都合だけを優先させてお金を稼ぐなど、ゆがんだ意識を持った人々が多すぎる。そんな弁護士が運営する法律事務所は、当然の帰結として「ダメ」になる。損失を被るのは、もちろん顧問弁護士として彼らを雇う、あなたの会社だ。思いきってお尋ねしよう。多額の顧問料を支払って、どれだけの利益を得ていますか。（第1章「ダメ」な顧問弁護士を選ばないために」より抜粋）

「よい法律事務所」の条件とは？

- ▷個人のブランド力ではなく組織力で勝負している
- ▷組織として理念を持っている
- ▷お客様のニーズを捉えるマーケティング機能がある
- ▷サービス設計機能を持っている
- ▷料金が合理的で、下げる努力をしている
- ▷顧問料の範囲で受けられるサービスが充実している
- ▷よりよいサービスのための投資をしている
- ▷仕事のスピードを追究する姿勢がある

003

¥700

経営者新書

経営者だから読める時代があります。

経営者だから見える未来があります。

次の社会はどこへ向かい、どう動くのか。

混沌として大きなうねりをみせる現代で、

漂いもせず流されもせず、

まだ見ぬ価値を求めて冒険をつづける経営者。

現実をいかに捉え、社会に何をどう還元していくか。

透徹した思索のもと、

静謐に決断し果敢に行動する経営者。

思いおせば、近代以後、

次代の価値を生み出してきたのは、いつも経営者でした。

経営者たちが経営の現場にしかない

緊張感のなかで獲得した、

その視点と発想を伝える経営者新書は、

不確実な明日を照らす一筋の光となるでしょう。